



創立 1995 年 10 月 18 日

2016～17年度テーマ 新鮮な全員参加の輪を広め 夕焼けのまち永久に照らそう

臨時総会・例会

日 時：平成 29 年 5 月 11 日(木) 11:30～14:00

場 所：八王子エルシィ

出席者：59 名 欠席者 7 名 出席率 88.1%

(会員総数 69 名 休会 2 名)

本日の案内 **宮城例会委員長**

本日は臨時総会、例会、サロンと長時間になりますが、よろしくお祈りします。

今回は会議に先立ち、ハッピーコインの披露(3~4 ページ掲載)と会食を行った。

第 2 回 臨時総会

1. 開 会 **宮城委員長**

今より本年度第 2 回臨時総会を開催します。

2. 議長選任

司会者一任の声があり、**岩島会長**が議長に選任された。

3. 書記 1 名、議事録署名人 2 名選任

議事に入る前に議長から、書記に下田泰造会員、議事録署名人に八木啓充会員、根本照代会員がそれぞれ指名された。

4. 議 事

第 1 号議案 2017-2018 年度プロバスクラブ役員人事(案)の件

武田洋一郎副会長の配布資料(次期役員名簿)の説明後、理事 11 名、会計監査 2 名が原案通り可決承認された。(別途議事録あり)

5. 議長退任

以上で上程議案の審議は終了しました。ご協力有難うございました。

6. 閉 会 **宮城委員長**

第 2 回臨時総会を閉会とします。

第 259 回例会

1. 司 会 **宮城委員長**

第 259 回例会を開催します。ここで本日の資料の確認を行います。(配布資料の確認)

2. 会長挨拶 **岩島会長**



第 2 回臨時総会が無事に終わりました。ご協力ありがとうございました。

次期役員になれる方々、大変御苦勞様です。

「現役」という言葉は、色々な意味に使われますが、私は

今では次のように解釈しております。

「現役」とは、字のごとく、「現に社会に役に立つ」という意味でありまして、平たく言えば、「現に誰かを喜ばせる事」であり、そう解釈すれば、プロバスクラブの活動は、会員同士の活動にしましても、また、地域社会に対する活動にしましても、コミュニケーションする相手を喜ばせる活動でありまして、これは正に「現役」であります。

そして、この「現役」の報酬は、生き甲斐の実感と健康寿命の増進であります。特に、役員になられた方々は、大変でしょうが、どうかこの報酬をしっかり受け取って頂きたいと思っております。

わたしたちプロビアンは、「生涯現役」であることが夢ではないでしょうか。

さて、今日はこの後、生涯学習サロンの閉講式、特別講話、そして、さよならパーティーと続きます。長時間とはなりますが、最後までご協力いただくと共に、また、精一杯楽しんで頂きたいと思っております。

これを持ちまして挨拶とさせていただきます。

3. パースデーカード贈呈

今月は5月生れの会員に、岩島会長から池田会員手作りのパースデーカードが贈られました。

山崎光子会員、永井昌平会員、白柳和義会員、川村真会員、有泉裕子会員、(橋本鋼二会員、阿部幸子会員は欠席)

おめでとうございます。



4. 幹事報告

飯田幹事

地域奉仕委員会をはじめ皆様のご協力、ご支援で学習サロンは今日で閉講式、さよならパーティーを迎えます。ありがとうございました。

また本日は新理事も決定し、今年度役員も残り2か月で次年度に引継ぎされます。

あらたな役員への引継ぎも遺漏なきようによりしくお願い致します。

皆様のご協力をよりしくお願い申し上げます。

5. 八王子「宇宙の学校」後援会年次報告

平成28年年度事業報告等 杉山会員

同 会計報告 澤渡会員

(内容はいずれも配布資料参照)

6. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会 宮城委員長

出欠席会員数の報告(前記のとおり)

6月から9月までクールビズとなります。

(2) 情報委員会 有泉委員長

今月プロバスだより258号はベテランの河合委員の担当でした。

(3) 会員委員会 土井(雄)委員長

特になし

(4) 研修委員会 野口副委員長

池田委員長が欠席で野口副委員長から、卓話は今月から7月まで、年度末の行事があるので休みにな

ります。

(5) 地域奉仕委員会 持田委員長

① 学習サロンもいよいよ本日は閉講式とさよならパーティーという最後のイベントを残すのみとなりまして、皆さまのご協力を頂き大きな支障もなくここまでやって来ることができました。ありがとうございました。

② また、野外サロンでは天気にも恵まれて予定通りこなす事ができました。お疲れ様でした。

③ 本日の閉講式では八王子市より生涯学習スポーツ部の瀬尾和子部長をはじめとして来賓が多摩・日野プロバスから8名出席されます。夫々の担当にて対応宜しくお願い致します。また、さよならパーティーではシニア・ダンディーズのコーラスや、フラダンス同好会の披露を兼ねてダンスをプログラムに入れてありますので、是非楽しみにして下さい。南極の氷も宮岡先生から届いていますので水割りなどで楽しんで下さい。

④ アンケート用紙を配布してありますので記入・回収に努めて下さい。今日一日よろしく願いいたします。

(6) 交流担当 浅川理事

報告事項なし

(7) 八王子「宇宙の学校」 下山PJリーダー

先月報告しましたように、5月から八王子「宇宙の学校」の募集を始めておりまして、すでに(5月11日現在)120組を超える申し込みがきています。今年もうれしい悲鳴となりそうです。その募集のチラシを参考に配布しました。

「宇宙の学校」スクーリングにプロバスクラブ会員の協力いただける方のアンケートを、先月いただきました。その結果をまとめた日程名簿表を参加いただける方の棚に入れさせてもらいました。

表についてすこし補足します。

① まだこれからでも間に合いますので、参加したい方、また変更のある方は内山会員へご連絡ください。

② 集合時刻が今日お配りしたものにになりますので、よろしく願います。

③ 普通の方は11時30分の集合で、特に任務のある方、初めてのテーマで学生ボランティアとともに研修しておきたい方は10時集合です。

④ G.Sの方で、何をするのか不明という方もあると思

います。我々は経験7年目に入っており、もう八王子「宇宙の学校」のシニアフェローであり、名誉教授の立場であります。

そのつもりで見守り、今後へのアドバイス、参加しての感想などお願いします。

以上雑駁ですが報告とお願いです。

7. 同好会活動報告

囲碁同好会 29 年度春季囲碁大会 吉田会員



今年度春の囲碁大会は、五月晴れの5月5日(金)、台町市民センターで行われました。新しく入会された井上克さんも参加され、10名が大会を盛り上げました。

大会は初戦より熱が入り、勝者同士が対戦する星のつぶし合いで優勝を目指した結果、全勝は一人も出ず、4勝1敗が4人となりました。その中から接戦で、試合をまとめた私・吉田が久しぶりの優勝となりました。珍しく気持が充実したことが良かったようです。これからも秋の陣谷温泉での一泊囲碁大会を目指し、例会が皆で腕を磨く場となりそうです。

8. その他

① 市政 100 周年記念事業について 立川会員

八王子市政 100 周年記念事業の一環として「全国都市緑化はちおうじフェア」が9月16日～10月15日まで行われます。

メイン会場は富士森公園でボランティアを募集しています。市から要請がありましたのでご協力をお願いします。

(詳細は配布資料参照)

② 鎌倉 P C 創立 15 周年行事に参加して

全日本プロバス協議会副会長 立川富美代

5月12日鎌倉プロバスクラブ創立15周年行事に参加致しました。

七里ヶ浜の素晴らしい景色と世界的に有名なギタリスト荘村清志さんのすばらしい演奏を楽しみ、とてもシンプルで良い記念例会でした。

9. プロバス賛歌斉唱

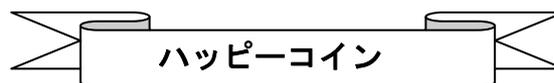
10. 閉会

武田副会長

本日は次年度の役員の承認を得られました。次年度は粛々とやっていきます。今日は長丁場になりますので、体に気をつけて最後まで楽しんでいきたいと思えます。



それではこれをもって閉会といたします。



◆また、一つ年を取りました。運転免許証も更新しました。定期検診もクリアーしました。もう一年頑張ります。 永井 昌平

◆本日の例会にて「八王子宇宙の学校」後援会報告をさせていただきます。 杉山 友一

◆ドイツの孫娘がギムナジウム(大学へ進むコースの中学校)に行くことが決まり、私達グランパー、グランマーはホットとしています。 岩島 寛

◆サロンも今日で閉講式となりました。地域奉仕委員の方々はじめ会員全ての皆様のお蔭で無事終了となります事に感謝申し上げます。 飯田富美子

◆今日はいよいよ閉講式とさよならパーティー。皆様の協力を得て、最終コーナーに入ることが無事できました。本日もしっかりとぬかりなく、地域奉仕は一丸で頑張ります。天候にも恵まれ Happy!!

持田 律三

◆学習サロン無事終了。関係者の労を多とし、とりわけ地域奉仕委員会メンバー各位に感謝、2コイン。

渋谷 文雄

◆今年も池田さんのカードがいただける幸せをかみしめています。 有泉 裕子

◆今年も我が家の巣箱にシジュウカラが子育てをしています。いまから巣立つのを楽しみにしています。

野口 浩平

◆3月9日、生涯学習サロンの「一期一会を楽しむ茶会」で貴重な体験をしました。「主人」の点てたお茶を運ぶ「飯頭(半東)」の仕事です。よろけなにかどうか心配でしたが、上手く出来ました。その昔、芸大オペラ<修善寺物語>の出演の時に、能楽の「仕舞」の稽古をしたお蔭です。「若き日の修業」の有難さを改めて思っています。 山形 忠顕

◆昨年4月から1ヶ年事業構想大学院で社会勉強をする予定で休会届を出し、オリエンテーションに出席しました。ところが家内が脳梗塞で入院、加療退院後のリハビリ途中脊柱管圧迫骨折で再び入院加療を繰り返しました。その後12月に乳がんが診断され1月にがん摘出手術と1年間入退院の繰り返しでした。結果大学には行けませんでした。竹内 賢治

寄稿

ハレー彗星を追って

永井 昌平

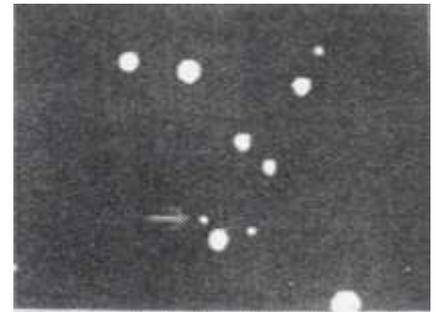
彗星は、宇宙を周回する大きさ数キロメートルから数十キロメートルの天体で、主に氷や塵などから出来ている。太陽に近づき熱で温められると、氷が解けて本体が崩壊し始め、大量に発生したガスや塵が長い尾のように伸びる。代表的な彗星がハレー彗星である。

日本最古の観測記録は、684年10月に近づいたハレー彗星について「日本書紀」に記載されている。その後は多くの記録があるが、殆どは不吉な兆候とされている。1910年(明治43年)のハレー彗星は、かなり地球に接近した。この頃は天文学も発達していたため、地球がハレー彗星の尾の中に入り、シアン化合物などの有害物質によってすべてが死滅するなどの噂が立った。科学の進歩とメディアの進歩がもたらした風評被害である。日本でも5分間空気がなくなると言う噂が立ち、後に「空気のなくなる日」という映画が制作されている。

次にハレー彗星が近づいたのは1986年である。このハレー彗星の接近をいち早く撮影しようという実験を試みた。この実験は、新しく開発したイメージセンサーの性能実験も兼ねていた。仙台市の公園の中にある小さな天文台であった。口径40cmほどの小さな望遠鏡に新しく開発したイメージセンサーを取り付け、地球に接近中のハレー彗星の撮影を試みた。1985年の9月、ハレー彗星はまだ13等星程度の明るさのときであった。実験は見事に成功し、NHKのニュースにも流されたが、撮影されたハレー彗星像はブラウン管上の一点であった。彗星に特有のしっぽが見えるわけもなく、単なる一点である。何となく達成感に乏しい実験結果であった。(写真・ブラウン管上のハレー彗星)

実験終了後、天体望遠鏡を使って色々な星を眺め

てみた。望遠鏡で見る天体は実にきれいである。ちょうど地球に近づいていたジャコビニジェンナーという彗星



を見ることが出来た。実に美しい彗星であった。この彗星を見てしまったおかげで、尾を引くハレー彗星を肉眼で見たいという野次馬根性に火がついた。

そのときのハレー彗星は南半球でよく見えるということで、翌年(1986年)4月にオーストラリアに飛んだ。シドニー、メルボルンなどの東側にいたのであるが、一週間ほどの滞在中、夜はすべて曇りか雨で、星一つ見ることが出来なかった。日本の観測隊は西海岸にいた。観測隊に同行していた友人に電話をしてみたら、晴れていてよく見えるとのことであった。すぐ西海岸に飛ぼうと思ったが、何故かストライキで国内線は飛ばなかった。それより懐が寂しくなり、女房に厳しく待たされたをかけられてしまった。やむなく、星一つ見ることなく帰国した。

実は、4月になっても、日本でまだ見られる可能性はあった。明け方近く、南の水平線近くに現れる。ただ、水平線近くというのは空気の揺らぎが大きく、観測できるチャンスは極めて少ない。それでも、もう一度チャレンジしようと思い、車山近くの観測ポイントへ夜中に行ってみた。すでに多くの人達がカメラを据えていたが、結局この日も見ることはかなわなかった。ただ、オーストラリアのときと違って、久しぶりに満天の星空を見ることが出来たのが、せめてもの慰めであった。

私にとっては、多くのお金と無駄な労力を使われた、不吉なハレー彗星追跡の思い出である。次にハレー彗星が現れるのは2061年、44年後である。それまではとても生きていられない。現在のプロバス会員で、見ることの出来る人はいないであろう。

腑に落ちた「生きがいの構造」 有田 進治

私は会社退職後、セミナー講師として、関東を中心に北海道から九州まで東奔西走し、今でも週2~3回ほど講演している。講演内容は、定年後の生きがいある人生を送るためのライフプランが主体であ



り、対象は定年前の会社員が主な層である。

この生きがいは、趣味などの個人的な生活の側面からの「暮らしがいい」と、仕事などからの社会的な側面からの「働きがい」の双方からもた

らされると考えている。そして、この生きがいを支えるものとして「お金」と「健康」があろう。セミナーでは受講生に、この四つの要素、即ち「暮らしがいい」「働きがい」「お金」「健康」について、自身の目標や課題を考えてもらっている。

その際、考える上での参考に、先輩事例や自分の例を紹介している。単に理論や理屈だけ述べていても、受講者の心に響かない。これまでの経験では、やはり講師自身の事例が一番、説得力があるようだ。

自身の例で言えば、会社時代の友人に、定年後、ゴルフ三昧の優雅な人生を送っている者がいる。私も時々、彼に誘われて一緒にプレーするが、そんな彼が羨ましい限りであった。しかし、あるとき、その彼が私に「ゴルフ三昧の生活も確かに楽しいが、なにか物足りなさを感じる。人に役立つ講師をしている有田が羨ましい」と言うのである。その瞬間、彼の一言で「生きがいの構造」がストンと腑に落ちた。人は、やはり自分が楽しむ「暮らしがいい」だけでは、深い意味での生きがいを得にくいようだ。加えて、なんらかの形で「働きがい」も必要なのだと。そして、この「働きがい」は、報酬を伴う「仕事」のみならず、報酬を伴わない「ボランティア活動」等からも得られる。その証左としてボランティア活動をする方々は、総じて生き生きしている。更に言えば、「仕事」「ボランティア」活動から、より高い満足度を得るには、その活動を通して自身の「内的モチベーション」が満たされる必要がある。

この内的モチベーションの主なものには、自身の①得意な知識やスキル。②好きなこと、③大切にしたい価値観の3つがある。従って、先ず、各自が自身のこの「内的モチベーション」が何であるかを自己理解することが先決となる。

そこでセミナーにおいては、受講者に、この自身の内的モチベーションにつき、じっくり自己理解してもらうよう支援している。

プロバス会員には、生きがいある人生を送っておられる方が多い。これは、既述した「生きがいの構造」からみれば、会員が自身の内的モチベーションを把握され、それが満足できるプロバス活動に取り組み、そこから「働きがい」と「暮らしがいい」を得ておられるからであろう。

上高地散策

有泉 裕子

初夏、新緑の上高地をゆっくり散策し明神池近くの嘉門次小屋に宿泊してウエストーン祭に参加してみようと山の気の合った仲間と出かけてきました。仲間の快気祝いもかねて。

八王子駅7時29分のスーパーあずさで松本まで、中央線の道中は、まばゆい緑。松本から上高地までのバスの旅はカーブの多い山道、途中の稲穀ダム、水干殿ダム、奈川渡ダムにたたえられた水と新緑のコントラストが心を癒してくれました。

上高地はいつもながらにバスも人も多く河童橋は穂高の雄姿を撮る人でいっぱいでした。明神池近くの嘉門次小屋までは新緑の雑木林で、写真を撮りな



がらゆっくり歩き、途中何回も猿に出会い、ご主人の毛繕いをしているらしい一組に出会い、写真を撮ろうと少し近くまでいきま

したら雄猿に威嚇されてしまい驚きましたが、見ると雌猿は子供を抱いていました。

宿泊した嘉門次小屋は日本近代登山の父、W・ウエ斯顿の山案内人として知られる上条嘉右衛門次の曾孫にあたる4代目が当主で、明治13年に建てられた当時の雰囲気伝える小屋で、大きな囲炉裏で焼いた香ばしい岩魚が夕食に出され、とても美味しくいただきました。夕食後のひと時囲炉裏の火を眺めながら当主と宿泊者で過ごしたひとは和やかな時間でした。

翌朝は明け方まで雨が降っていたので、新緑が一段と爽やかな感じの中を河童橋近くのウエストーン広場まで新緑の雑木林の中を歩きました。道中案内板の上ののっている猿や親子で歩いている猿や落とし物が、よもぎ饅頭が落ちていたみたいだったり。

小屋のご主人は近年猿が多くなっていると説明していましたが、びっくりしました。

ウエストン祭は10時から始まり献花、ウエストンの歌、御挨拶、新島々小の生徒とエーデルワイス合唱団のコーラス、講演等があり、1時間30分位の時間でした。

近くのルミエスタホテルのお弁当を屋外で山と川を眺めながら頂き、帰途につき八王子6時前の到着、反省会の夕食を頂き散会しました。病気後の友人がお元気に歩かれたことが何より嬉しく、今までは山に行き帰りの通過点だった上高地の自然をゆっくり味わえたとても良い旅でした。

私の尊敬する大村智先生からの言葉

飯田富美子

「誰かのために生きてこそ人生には価値がある。人のためになる事ができないかをいつも考えてきた。」と八王子の野口英世、Dr.肥沼と同じ思いを話されるのは現代の偉人大村智先生です。



茶人帽のよく似合うその飾らぬお人柄、笑みの絶えない会話、昨年ノーベル医学生理学賞受賞という偉業を遂げた大博士とは思えない気さくさが私は大好きです。山梨県という

同じ故郷を持ち、同じジャンルの仕事という事もあり、長年親しくさせて頂いております。(写真は29年新年賀詞交換会の折りに)

受賞直後、先生が『^{しせいそくだつ}至誠惻怛』という言葉の色紙に書いてくださいました。“真心と慈愛の心をもって取り組めば必ず事はうまくいく”という意味だそうです。江戸時代藩の改革を遂げた学者山田方谷の言。

先生の沢山の偉業の中でも、2億人以上ものアフリカの民を救った事と合わせ、研究を事業化し、その収益を研究費にあてるという新たなビジネスモデルは高く評価されています。次なるはノーベル平和賞受賞も夢ではないと思っています。

私も先生のおっしゃる「如」の心を持ち、「一期一会」を大事にし、色紙の言葉を胸に日々過ごしていきたいと念じています。

俳句同好会便り

私の一句～5月の句会から

河合 和郎

万緑に彩られた山々は絶え間ない鳥の囀りで満ちている。好季節、俳句の材料には事欠かない。それぞれの想いを一句に。今月の兼題は「音」。

音なしの構え葉陰の子蟪蛄 池田ときえ

兼題句として秀逸。「音なしの構え」に一同脱帽。絵心の観察眼の確かさ。「蟪蛄」はカマキリのこと。

日暮れまでつつぢの庭のかくれんぼ 田中 信昭

箱根「山のホテル」での作とか。芦ノ湖を見下ろす躑躅の庭園の見事さ。子供には絶好の遊び場。

靴音に行く春惜しむ宵の径 飯田富美子

季節によって微妙に変る靴の音を一句に。乙女心を忘れない若さと繊細な感覚が素晴らしい。

散りつもる花に音なく雨の降る 立川富美代

抒情的な雰囲気がいっぱいの句。花散らしの無情の雨を詠んで切ない。感じたままの表現がいい。

境内の子らも明明樟若葉 馬場 征彦

樟の若葉は明るく美しい。子供たちが元気に遊ぶ様子と若葉が耀く境内の様子が「も」で収斂された。

改憲に軍靴の音や五月闇 渋谷 文雄

改憲や共謀罪などの言葉が飛び交う昨今。不気味な音を聞く作者。心配が杞憂に終ることを祈るのみ。

陽は温し川蝻そろりつま通ひ 山形 忠顯

川蝻(巻貝の一種・蛍の幼虫の餌になる)を詠んだ句は初めて。それも恋のうた。だから俳句は楽しい。

花海棠群れ鳥遊び人は愛で 東山 榮

海棠の花に群れ遊ぶ小鳥たち。それを眺めて楽しんでいる人間。それを俳句に詠む人のありて。

湯畑に下駄音絶へておぼろ月 矢島 一雄

湯治客の湯巡りで賑わった温泉場も、夜更けと共に静寂が。おぼろ月が湯の町の情緒を見守っている。

照るもよし降るもまたよし柿若葉 河合 和郎

山野は緑一色に覆われる好季節。中でも柿の若葉や樟の若葉はひとときわ照り輝いている。

編集後記: 今回はパソコンが8.1から10に替えられたので、多少操作に手間取ったが、何とかおさまりました。東山 榮